

・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

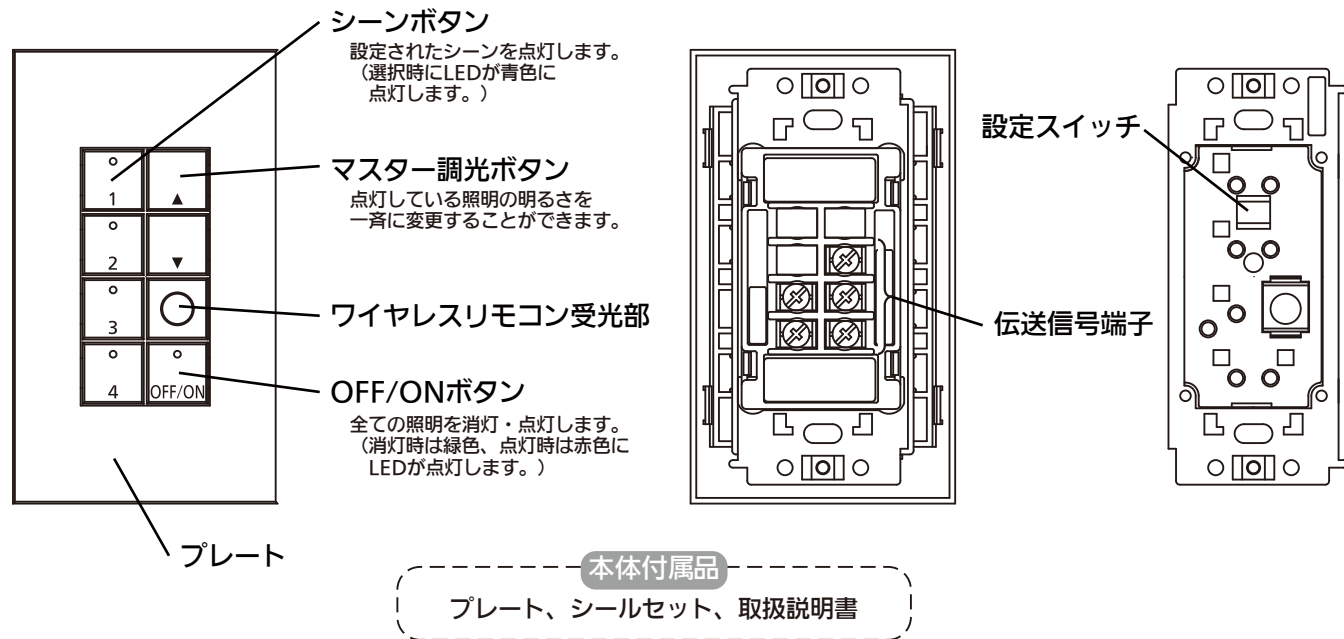
- 本器の分解や改造および修理はしない。火災や感電の原因となります。
- 必ず適合のコントローラと組合せて使用する。火災や感電の原因となります。
- 施工は取扱説明書にしたがい確実にこなす。火災や感電、落下の原因となります。
- 屋外、湿気が多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが発生する場所に取り付けない。火災や感電の原因となります。
- 断熱材（防音材などの断熱効果のあるものを含む）をかぶせた状態で施工はしない。火災の原因となります。



仕様

定格電圧	コントローラより供給	入力電流	32mA
使用温度範囲	0~35℃（結露なきこと）	適合リモコン	NK28658
		適合コントローラ	ライトマネージャーFx

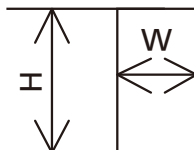
各部のなまえとはたらき



施工前のご確認

■本器の取付にはJIS1コ用スイッチボックスまたははさみ金具を使用してください。
(樹脂用スイッチボックスも使用可能です。)

■取付方法に対応した開口穴の寸法を空けてください。

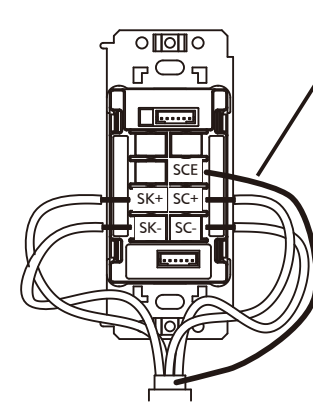


	W	H
スイッチボックス取付	51 ⁺⁸ ₀	90 ⁺⁵ ₀
はさみ金具取付	47 ⁺² ₋₂	95 ⁺² ₋₂

(単位：mm)

施工手順

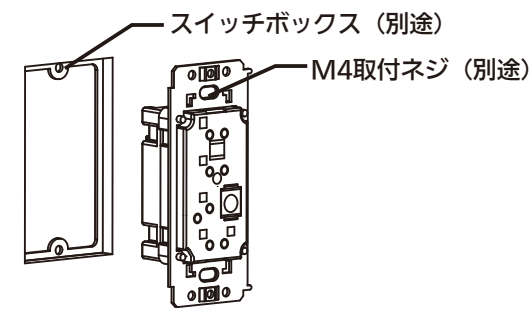
1. 伝送信号線を接続する。



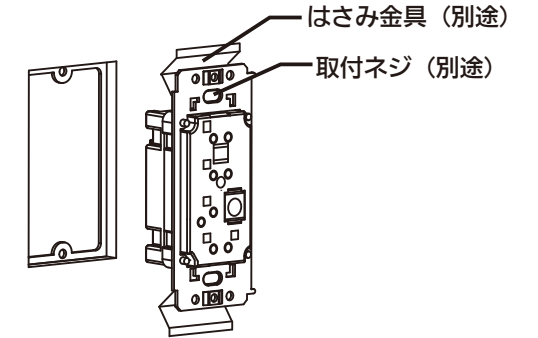
シールド
シールドはSCE端子に接続してください。

- ・コントローラとの配線はコントローラの施工説明書などでご確認ください。
- ・伝送信号線にはEM-CPEE-S (CPEV-S相当) φ0.9またはφ1.2×2ペアをご使用ください。(剥き代10mm)
- ・伝送信号線の総配線長は50m以下にしてください。
- ・伝送信号線は1台ずつ送り配線(一筆書き配線)で接続してください。(途中で分岐して接続することはできません。)
- ・同じ端子記号同士を接続してください。

2. 本体を取り付ける。



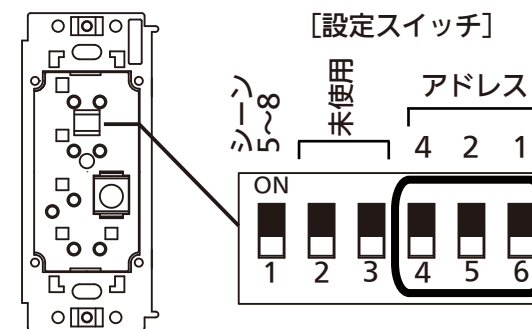
<スイッチボックス取付>



<はさみ金具取付>

・壁材にメタルラス、ワイヤラスなど金属が含まれる場合はその金属部に触れないように施工してください。

3. 設定スイッチでアドレスの設定を行う。



設定スイッチのアドレス側を使用してアドレスを設定してください。
(設定の際は細いドライバーなどを使用してください。)

※出荷時はアドレス1になっています。

ON	4 2 1	4 2 1	4 2 1	4 2 1
アドレス1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・複数台子器を使用する場合は必ずアドレス設定し、アドレスが重複しないように設定してください。
(誤動作の原因となります。)

4. 設定スイッチでシーンボタンの設定を行う。

設定スイッチの「シーン 5～8」を使用してシーンボタン操作時のシーン番号の設定を行ってください。
(設定の際は細いドライバーなどを使用してください。)

※出荷時は OFF になっています。

OFF の時、シーンボタンはシーン 1～4 になります。

ON の時、シーンボタンはシーン 5～8 になります。

シーン 5～8 に設定時は同梱のシールセットをシーンボタンに貼ってください。

<全てのあかりを消灯する>

OFF/ON ボタンを押してください。

OFF/ON ボタンを押すと、全てのあかりが消灯されます。
※再度OFF/ON ボタンを押すと、消灯前のシーンが再生されます。

5. プレートを取付ける。

※プレートを外す際は、プレートの上を押さえ、プレートの側面下部をつかみながらひっぱってください。

シーン選択子器としての役割

親器から離れた場所でOFF/ON、シーン再生（4シーン）、マスター調光操作をしたい場合に使用します。また、親器のシーンを増設したり、リモコンの操作範囲を増やす場合にも使用します。
※親器のシーンを増設した場合、シーン5～8にシーンを記憶させるには親器を記憶モードにして記憶させたいシーンボタンを押してください。

故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	処置
LEDが点灯しない	コントローラの電源が入っていない。 「SK+」、「SK-」の線が接続されていない。	コントローラの電源を入れてください。 伝送信号線の結線を見直してください。
OFF/ONボタンのLEDが赤色点滅する	「SC+」、「SC-」の線が接続されていない。	伝送信号線の結線を見直してください。
ボタンを押しても親器と連動しない	アドレスが重複している。(複数子器接続時) 適合コントローラが接続されていない。	各子器のアドレスを見直してください。 正しいコントローラを接続してください。

上記点検でもなお異常がある場合は、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店にご相談ください。

安全点検について

コントローラの取扱説明書に安全チェックシートがあります。
コントローラのチェック時に本器も同じチェックを実施してください。

操作方法

<シーンを再生する>

シーンボタンを押してください。

設定スイッチで設定したシーンが再生されます。シーンは1～4または5～8に設定することができます。(接続されている親器、子器も対応するシーンボタンのLEDも自動的に切替ります。)

<マスター調光ボタンを使う>

マスター調光ボタンを押してください。

マスター調光ボタンの「▲」、「▼」を操作することで、点灯している回路の照明器具を一斉に調光することができます。(マスター調光ボタンの動作は、動作前の各回路の調光率の差を保持して動作します。)